

カメルーン南西部で絶滅の危機に瀕する大型水生ほ乳類マナティーと漁業の共存を目的とした、環境配慮型漁業の推進とエコツーリズムの整備

活動地域  カメルーン

つづける助成

3年目

知識の提供・普及啓発

マナティー混獲数 **0**件

駆除した外来種の植物の量 **220** t

今年度計画の達成度 **92** %

全体計画の達成度 **95** %



外来種の浮草の駆除

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

浮草の駆除後、エコ木炭を製造する村まで新鮮な状態で運ぶことが難しかった。エコロッジの建設許可を得るのに苦勞したが、ようやく申請が通ったため、計画を進められる。

■ 工夫した点

浮草の駆除後、川岸で植物を乾かしてから輸送することにした。腐敗を防ぎ、大量に輸送できる。エコロッジ建設の代わりにテントを購入し、ツアー客が休憩できるようにした。

課題

マナティーの漁網への混獲、害獣駆除及び食肉目的の密漁が起きている。さらに、新たな問題として外来種の浮草が増殖し、マナティーの生息地を圧迫している。

目標

マナティーの混獲数を減少させ、環境教育によって保全への意識を高める。外来種の駆除を進めつつ、エコツアーの整備によって保全と地域経済の活性化を目指す。

活動内容と成果

マナティー混獲数・密漁数は0件であった。外来種の浮草について、漁師らの協力を得て220tの駆除を行い、50kgのエコ木炭の製造、販売を行った。これらは漁師らの生計をサポートしており、継続的な協力を得られている。定期的に環境教育を行い、合計1,737人が参加した。参加者の90%がマナティー保全に賛同しており、大きな意識変化が確認された。エコツアー実施のための整備を行い、これまでに50人が参加した。参加者へのアンケート調査を実施しており、エコツアーの改良、最適化を行う。



サッカー大会でのマナティー啓発活動

全助成期間の活動を振り返って

予定していた活動をほぼ全て完了することができた。漁師らとの連携によってマナティーの死亡数を0件にすることができ、定期的な環境教育でマナティー保全への意識を大きく高めることができた。そして、外来種の浮草の問題については、対象地域の湖の一部において、浮草が水面の55%を覆っていたが、1年間で18%まで減少させることができた。今後の継続的な駆除活動によって、根本的な解決を実現できると期待している。



エコツアーの実施の様子

Dizangue/Edea, Littoral Cameroon

E-mail : info@ammco.org

HP : <http://www.ammco.org/>



今後の展望

カメルーンの人気競技のサッカー大会と協力して、マナティー保全への啓発活動を進める。外来種の浮草については、地域と連携して人力での駆除、エコ木炭の製造を進める。また、浮草の上を移動できるタイプのボートを購入し、これまで入れなかったエリアでの活動も進める。エコツアーの実施のためにエコロッジ建設をスタートし、ツアー客の受け入れに向けて準備を進める。そして、対象地域の環境保全に向けた管理計画を進めていく。

